

支援プログラム

作成日 令和7年 7月 1日

法人理念		「地域の人々でつくる、安心して暮らせるまち」		
支援方針		子ども達の小さな一歩に寄り添います。		
営業時間		9時 00分 から 17時 00分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容		
本人支援	健康・生活	食事：本人に合った食べ方や食形態について一緒に考えます。 排泄：本人の排泄の時間やタイミングを確認し、スモールステップで取り組んでいきます。 着替え：手伝ってもらいながら衣服の着脱を支援者や保護者と一緒に練習します。		
	運動・感覚	体操：支援者を見ながら、まず粗大運動から動きの真似ができるよう促しています。 散歩：歩いたり、身体を動かしたりしながら体力づくりをします。また、親子や支援者と手を繋いで歩くことを学べる機会を提供しています。 運動遊び：順番を待つ練習や支援者を見る力、支援者の声を聞く力を育てます。 マッサージ：身体の部位を手で押して感覚刺激を感じられるようにしたり、ボディイメージを促したりします。		
	認知・行動	まーるくなーれ：会の始まりを知らせ、その日の活動に入るきっかけづくりをしています。 ※手遊びや運動遊びを通して自分でやってみようとする気持ちをもてること、少し頑張ったら「出来た」や「分かった」を増やすため、成功体験を積み重ねることが出来るようにしています。		
	言語・コミュニケーション	手遊び：発声の機会を増やすようにしています。 歌を歌ったり、見て模倣したりすることにより楽しめる機会を作っています。 触れ合い遊び：親子や支援者と一緒にやることで、人と関わる楽しさや、もっとやりたい気持ちを引き出せるようにします。		
	人間関係・社会性	自由遊び（午前・午後）：本人の好きなことや喜ぶことを保護者や支援者と一緒に見つけ、十分遊べる時間を確保し、興味関心を広げていきます。 また、お子さんの苦手なことは何かを知って対応と一緒に考える機会にもしています。 個々に合わせた他者とのやりとりの仕方や遊び方を経験できるようにしています。		
家族支援		・発達支援の専門家によるグループミーティング・個別相談 （保育士・臨床心理士・言語聴覚士・作業療法士） ・ペアレントトレーニング	移行支援	・保育・教育移行支援 ・「遊んで学ぶ会ピース」 ※就学前のお子さん対象
地域支援・地域連携		・保育所等訪問支援 ・就園先をはじめ関係機関との連携	職員の質の向上	・多職種連携カンファレンス ・障害児療育支援事業を活用 ・法人内・事業所内・外部研修受講
主な行事等		・誕生日会 ・避難誘導 ・ひまわり祭り ・クリスマス会 ・障害児療育支援事業（保護者研修）		